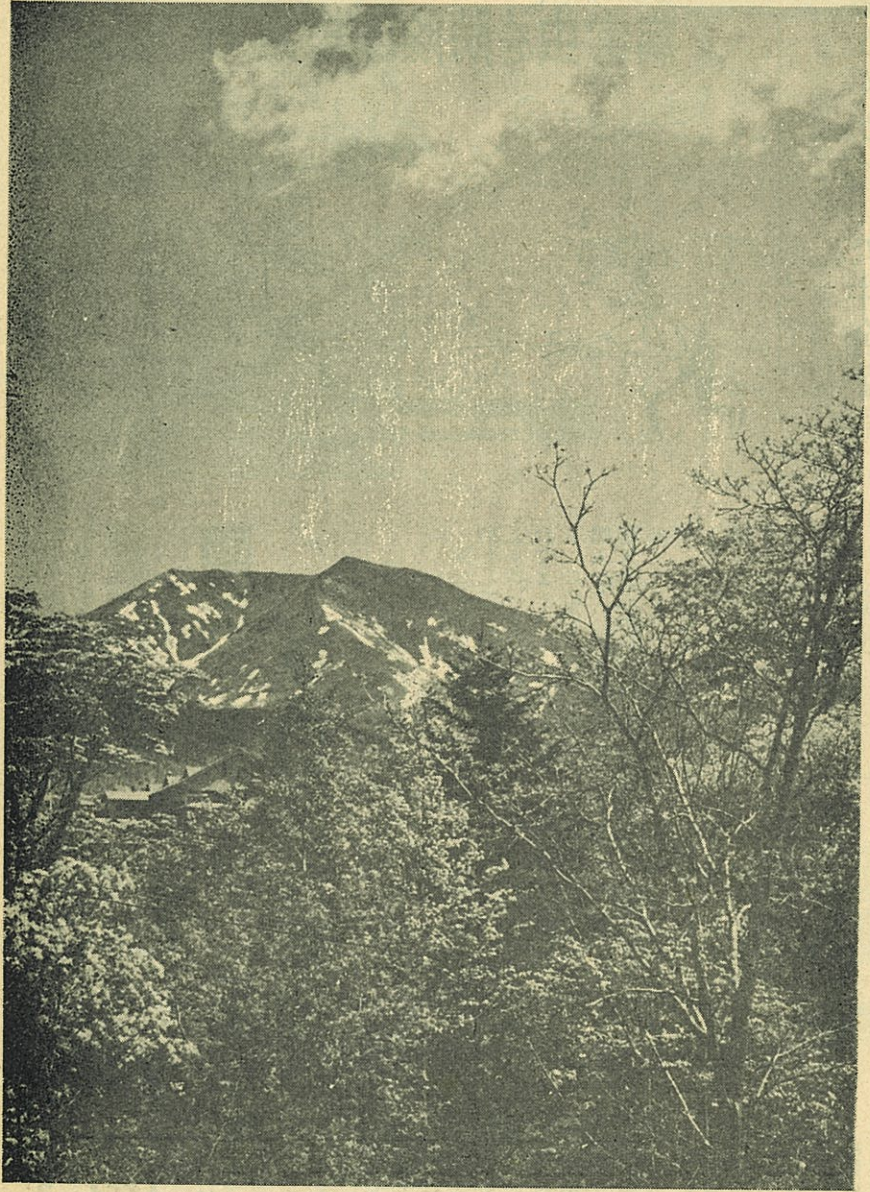




広報 かりぶと

昭和36年
7月号
【第57号】
発行所 狩太町役場
発行日 昭和36年7月1日発行

— 野に山に親しもう —



ちかごろは、レジャー時代といって仕事の余暇をどう過すか、ということがよく話題になります。工場やオフィス、あるいは商店などで忙しい生活をつづける人々にとつて、野や山に遊ぶことは最も健康的なレジャーの利用法です。自然はあくせくと、つかれた心やからだを楽しみのうちにいやしてくるからです。また一面、雪にとちこめられがちな冬の長い北海道の人には、これからの気持よい季節に、できるだけ野外にでて太陽の恵みを十分うけるといふことも、たいせつなことです。人々が気軽に自然公園や温泉などでかけられるよう、ことしも七月二十一日から八月二十日までの一ヶ月間を「自然に親しむ運動」の期間として、いろいろな催しが行なわれます。また八月十一日、十二日の両日は支笏湖で全国の若人が集つて、キャンプや登山を楽しむ国立公園大会が開かれます。

道立公園ニセコの遠望

【写真 里村氏提供】



7月の農作業

一、作物の病害虫防除は早目に

いねの、いもち病は病気を早くみつけ水銀製剤を使い、一せいに防除につとめること、どろおひ虫、ずい虫はBHCまたは有機燐製剤で、また馬れいしよの疫病やビートの褐斑病は銅製剤を使い、ビートの、よとう虫にDDTを使つて、それぞれ早目に防除することがたいせつです。

二、作物の手入れを上手に

いねは幼穂形成期になるので深水かんがいをすること、また除草は、この時期までに終るように行なう。

畑作物は草とりを十分に行ない、馬れいしよの培土はよくぬれよう、また牧草の刈取りや、むぎ類、あまの収穫もおくれなことが肝要です。

三、家畜の手入れと牛乳の取り扱い

暑くなるので、家畜のえさの与え方に注意し、畜舎や体を清潔に保ち蚊や、あぶを防ぐこと、また牛乳は十分に冷却して、二等乳にならないよう留意が必要で



暖かくかわいた牛舎を

牛舎は牛の習性を第一に考へて建てるべきです。寒い北海道では、冬期間でも暖かい牛舎にして、牛の健康と乳の生産があがるようにならねばなりません。湿度の少ない衛生的なものにするの同時、毎日の牛の世話を

の便利なように必要な設備を考へること、また、その作業が安全にできるように心を配ることがたいせつです。とくに今まで失敗の多かった牛舎の保温と換気について説明しますと、外壁はブロック、レンガの一枚積みや、木造板張りだけでは

防寒不足ですから、壁にモミガラ、のこ屑などの保温材をつめて保温的にする必要がある。このように、十分保温し

国民年金の

保険料は印紙で

●前納は現金割引されます

国民年金の保険料は、原則として、国民年金印紙により納入することになつております。この印紙は役場の窓口で購入して、国民年金手帳の所定欄に正しくはつていただくことになりま。ここでは注意が必要なのは、この印紙をはつただけでは保険料を納めたことにならないこと、手帳には必ず、町長の検認をうけなければなりません。この検認は、毎月受けることをたてまとしていますが、もし、いろいろな事情で、毎月受けることができない場合は、
※四、五、六月分は 七月までに
※七、八、九月分は 十月までに
※十、十一、十二月分は 一月までに
※一、二、三月分は 四月までに
三月分まとめて検認をうければ良いことになつてい。また、この納入の手間をできるだけ簡単にするため、印紙を買つたとき同時に検認をうけられるような措置などを講じています。なんと、いづれも納める人の手間を少なくして、自動的に納められるようにしなければなりませんので、町ではさらに、納税貯蓄組合などでまとめて納めるような方法もいろいろと検討しています。このように保険料は、印紙によつて毎月納めるほか将来の分をまとめて、納めることも出来ます。この場合は、現金で、一年分とか、十年分あるいは五十九才までの分全部が納められ、一定の率で保険料が割引されますので、前納希望の方は、係迄ご相談ください。

まめちしき
【囲碁のおこり】

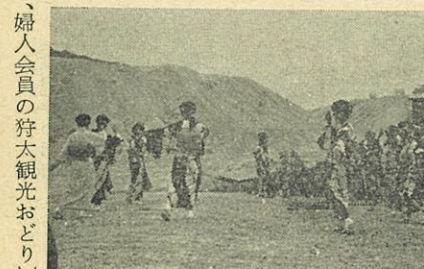
囲碁は、舜帝が、天子商均の智を練るために造つて教えたのが始まりと伝えられる。支那からわが国に伝わつたのは、持統天皇(西暦六九〇年)の時代で、唐に留学した阿部仲磨、吉備真備とともに名手で、とくに仲磨はなかなかの妙手で唐の役人にその技を疑われたいに野馬台に閉ぢ込められたという伝説がある。碁石の白黒は日月にかたどり、陰陽の気を表わしたもので、石を円形に作つたのは天の形、盤を四角に作つたのは地の形である。縦横に十九の糸を引いて目数三百六十一目あるのは太陽暦の一年の日数を表わしたものであり、その間の黒点の盛つたのは九曜の星に準じたものである。碁盤の丈が一尺二寸あるのは、一年十二月を表わし、石の数は三百六十一目はこれまた一年の日数、白石は陽で風、黒石は陰で夜を表わし、黒石を持つものはから始まり、白石は夜の子の刻(午前零時)から始まるからであるといわれる。将棋は王をとり、囲碁は地をとり、ともに陣法によるもので、武士の間で行なわれ、徳川時代に将棋とともに奨励された。

盛大に行われたニセコの山開き



きすか、われた天候の日、六月十七日午前十一時より、狩太、關、安の三町、現光協会共催によつて、今井守太、龍島会長をはじめ、後志支庁、倶知安、林務署、林務署、保町の来賓、町議会議員など

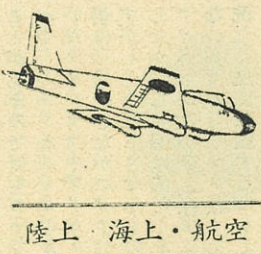
きすか、われた天候の日、六月十七日午前十一時より、狩太、關、安の三町、現光協会共催によつて、今井守太、龍島会長をはじめ、後志支庁、倶知安、林務署、林務署、保町の来賓、町議会議員など



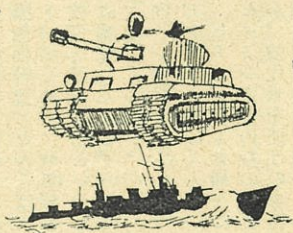
〔写真上〕微笑の福引風景下、婦人会員の狩太観光おどり

山はみんなのもの 楽しく過しましよ

「高嶺の花」という言葉は貴重で、ほしくても手がでないもの、たとえよく便利でも、しかし夏に高い山へ登れば、たれでも「高嶺の花」が咲き乱れる、お花畑に接することが出来ます。そこで、一輪手折りたくなるのが人です。でも高い山で短かい春をおう歌している高山植物は、山のきびしい自然環境に耐えぬいた貴重なものばかりです。多勢の人がこのお花畑を楽しみに山へ登つてきます。後からくる人のためにもちよつとした心から、つみとつたり、ふみつけたりしないよう心がけるのは山のエチケットです。それと同じように山の施設、たとえば指導標、山小



陸上 海上・航空



自衛官志願案内

◆昭和三十六年度第二次募集◆

- 採用予定人員と採用予定期日
●二等陸士
約五、〇〇〇名
昭和三十六年八月中旬
十月下旬
●二等海士
約一、五〇〇名
昭和三十六年八月下旬
九月下旬
●志願資格
昭和三十六年十月下旬
心身共に健康で、昭和三十六年九月一日現在で、十八才以上、二十五才未満の日本国籍の男子であれば、どなたでも結構で



この国は君のその手で

若き青年の生活の将来を希望するに、志願するに、基礎を築く。自衛隊の訓練を受ける。自衛隊の訓練を受ける。自衛隊の訓練を受ける。

二、試験場は北海道では二十数箇所設けられる予定で、役場で聞かれて、志願票に希望試験場名を記入して下さい。
●試験
三十六年六月一日(木)から、三十六年七月三十一日(月)まで
試験は右の期間内で行われますが、受験日は、本人宛通知せられます。試験は簡単な「学科試験」「口述試験」「身体検査」を行ない一日で終わります。その他詳しいことは、役場でお尋ね下さい。

